

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差						
学年	第3学年			学年	第1学年			第2学年		
年度	国語	数学	合計	年度	国語	数学	英語	国語	数学	GTEC
令和12年度の目標				令和12年度の目標						
令和11年度の目標				令和11年度の目標						
令和10年度の目標				令和10年度の目標						
令和9年度の目標				令和9年度の目標						
令和8年度の目標	-3	-7	-10	令和8年度の目標	+0.2	+3.1	+5.8	-2.0	-0.6	-4.6
令和7年度の結果	-4	-10	-14	令和7年度の結果	-0.8	+2.1	+4.8	-3.0	-1.6	-5.6
令和6年度の結果	-4	-3	-7	令和6年度の結果	-1.8	-1.8	-1.8	-3.4	-4.5	-3.4
令和5年度の結果	-4	-7	-11	令和5年度の結果						

年度	令和7年度	令和8年度	
内容	成果と課題	目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】深い学びにつながる単元計画、「共有」と「ジャンプ」の授業デザイン、グループ学習を重視している。</p> <p>【課題】学年によって差はあるが、全国・東京都の平均正答率より低い教科が多く、基礎力が定着しきれていない。</p>	<p>「全国学力・学習状況調査」「江戸川区学力調査」とともに、平均正答率を1ポイント以上向上させる。</p>	<p>・教員の指導力向上（ねらいの設定と振り返り、問いの工夫、気づきや答えを引き出す工夫、適切な効果測定の実施）</p> <p>・一人一台端末を活用した、デジタルドリルによる学習習慣づくり</p> <p>・効果的な課題の設定</p>
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学と英語の結果が全国の平均正答率を上回っている。</li> <li>・国語は全国の平均正答率を下回っているが、説明的な文章と文学的な文章の読解については全国を上回っている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語は漢字の書き取りと聞くことについて全国を下回っている。</li> <li>・数学は方程式の利用と比例・反比例がやや低くなっている。</li> <li>・英語は必要な情報の聞き取りが全国を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、漢字の書き取りの力と、聞き取る力を身に付けさせる。</li> <li>・数学については、方程式の利用と、比例・反比例の知識を身に付けさせる。</li> <li>・英語については、必要な情報を聞き取る力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、漢字の反復練習をさせるとともに、漢字テストを実施して定着度を確認する。また、話し合い活動を取り入れて、仲間の話をしっかりと聞き取る習慣を身に付けさせる。聞き取りテストも実施していく。</li> <li>・数学については、一人一台端末を活用したドリルパークを活用し、苦手な単元の反復練習を家庭でも取り組めるようにする。</li> <li>・英語については、英語を聞き取る機会を増やす。英語による話し合い活動、ALTとの会話、リスニングテストを実施していく。</li> </ul>
第2学年	<p>【成果】国語と数学の結果が、令和6年度よりも上がっている。</p> <p>【課題】3教科とも全国の平均正答率を下回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語は特に漢字の書き取り、言語文化（敬語、歴史的仮名遣い）の知識が低くなっている。</li> <li>・数学は特に図形（平面図形、円・球、空間図形）の知識が低くなっている。</li> <li>・英語は特に英文の聞き取りと、場面に応じた英文記述が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、漢字の書き取りの力と、敬語や歴史的仮名遣いなど、言葉の知識を身に付けさせる。</li> <li>・数学については、図形の知識を身に付けさせる。</li> <li>・英語については、英文を聞き取る力と、場面に応じた英文記述の力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、漢字の反復練習をさせるとともに、一人一台端末を活用したドリルパークを活用し、言葉の知識に関する問題を多く解かせる。日常生活で敬語を意識して会話させる。</li> <li>・数学については、一人一台端末を活用したドリルパークを活用し、図形の問題を多く解かせる。家庭でも取り組めるようにする。</li> <li>・英語については、英語を聞き取る機会を増やす。英語による話し合い活動、ALTとの会話、リスニングテストを実施していく。英文記述の小テストを授業の最初に実施する。</li> </ul>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の結果は東京都の平均正答率より4ポイント低いが、毎年同じ数字になっている。下がらずに維持している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語は特に言葉の知識に関する問題と、相手の反応を踏まえながら自分の考えをわかりやすく伝える問題で低くなっている。</li> <li>・数学は特に図形の証明の問題と、関数の問題が低くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、語彙力を高めるとともに、相手の気持ちを理解する力を身に付けさせる。</li> <li>・数学については、図形と関数の知識を身に付けさせるとともに、わかりやすく論理的に説明できる力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語については、語句の意味調べを多く取り入れる。登場人物の心情を読み取る活動や、相手の気持ちを汲み取る話し合い活動を実施していく。</li> <li>・数学については、一人一台端末を活用したドリルパークを活用し、図形や関数の問題を多く解かせる。家庭でも取り組めるようにする。証明については、話し合い活動の中で数学的に解釈できるようにするとともに、類似問題を多く解かせて定着させる。</li> </ul>